

西 ～にし～

Good News 特集号

■東京都立第五商業高等学校
全日制課程

「第1学年インターンシップ体験発表会」

■第五商業高等学校 全日制課程「第1学年インターンシップ体験発表会」

平成29年3月9日(木)に、第1学年によるインターンシップ体験発表会を行いました。当日は、一橋大学大学院教授、国際ロータリー第2750地区 地区インターンシップ委員会副委員長、5つのロータリークラブの代表の方、お世話になった13事業所の方をお招きしました。発表内容は、7事業所での体験発表と4事業所への御礼の言葉、一橋大学教授と副委員長による講評、事業所の方からの講評、メッセージなどでした。体験発表では、各事業所での社員の様子や仕事風景、実習内容が紹介されました。生徒の発表から、朝1日が始まる時は、朝礼での元気な挨拶、仕事内容の確認、時間を守ることがとても大切だと感じ、「学校で挨拶のことをよく言われるがその意味が良く理解できました。コミュニケーションの一つとして大事なことだと感じました」という感想が多く取り上げられました。生徒は、実習期間中、社員の方々の動きをとてもよく観察して「社員の方はお客様のことを常に考えて行動している」「保育士の動きを見て、どの場面で自分が動いたらいいか考えながら行動した。」「同じ作業の繰り返しで体がきつかった。お金を稼ぐ大変さを感じた。」とそれぞれ発表していました。

一橋大学大学院教授からは「インターンシップができることは恵まれていることを理解してほしい。働くということはどういうことか、簿記や情報をなぜ学ぶのか」など生徒に考えさせる内容の話をしていただきました。地区インターンシップ委員会副委員長からは「コミュニケーションを大切に、世の中を支える人になってほしい。自分のやりたい職業でなくても、経験すれば将来の考え方が変わってくるかもしれない」という話がありました。事業所の方からは「今は使わない体験でも、将来役に立つことがある」「辛い仕事があってもその先には、お客様がいるということを考える」など貴重なメッセージをいただきました。

本校では、教科「人間と社会」を「ライフデザイン・社会体験学習」と称して、「人間関係を築く」「働くことの意義」「マナーとルールについて考える」「地域社会を築く」をテーマにして、1年生全員がインターンシップに取り組み、職業観・勤労観の育成、将来の進路選択に役立てている。今後は、本校での学びと結び付け、資格検定取得をはじめ共通教科をとおして、生徒の資質・能力をさらに高めていきたい。

【生徒の意見から】

「インターンシップが体験できて良かった」「人生の中で1、2を争うくらい良い経験ができました」
「みんないい発表をしてとても良かった」「それぞれが自分の経験したインターンシップを再び思い出し、今後の自分の将来を考えた時間でした。」



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話 (管理課) (042) 527-6590

(経営支援室) (042) 527-6980 ファクシミリ (042) 527-6468